



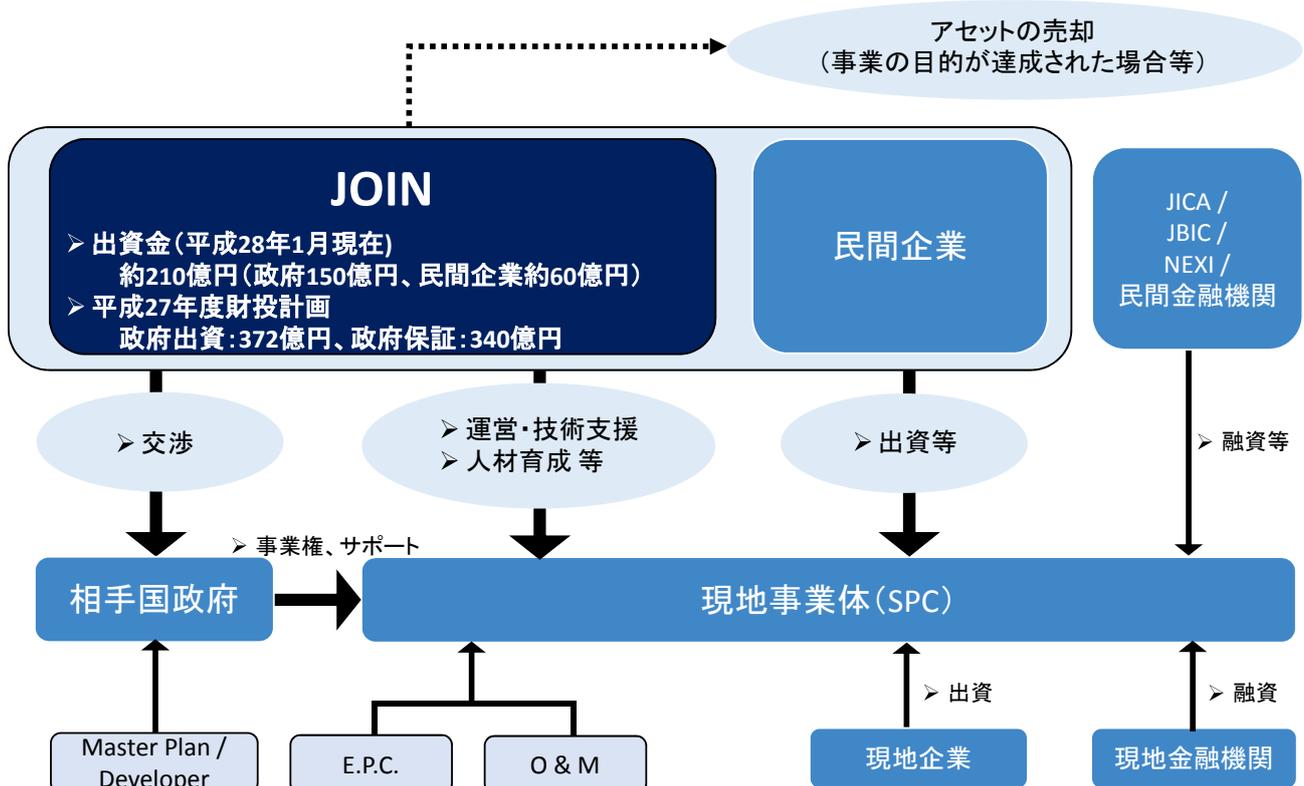
# JOINの最近の状況について

平成28年3月

株式会社海外交通・都市開発事業支援機構  
事業推進部シニアディレクター 河田浩樹

Japan Overseas Infrastructure Investment Corporation for Transport & Urban Development

## 1. JOINの概要・役割



## 2. 支援対象となる事業分野

高速鉄道



都市鉄道



高速道路



海運／船舶



港湾ターミナル



空港ターミナル



都市開発



物流



2

## 3. 支援の方針 —考え方と原則—

国交省「支援基準」及びJOIN「投資運用指針」に基づき以下の方針で支援を行う。

### 政策的意義

- ・ 我が国の知識・技術・経験の活用
- ・ O&M企業の事業への参画・関与
- ・ 関連企業のビジネス機会の創出
- ・ 相手国の発展と人々に必要な事業
- ・ 技術移転と人材育成(事業の一環として位置付け)

### 事業目的の達成

- ・ 主要な出資者の事業達成へのコミットメントと実施能力
- ・ 相手国政府の所要の支援とリスクの負担
- ・ 法的枠組みとAccountability
- ・ EPCコントラクターの能力と実績

### 事業サポート

- ・ 民間出資を超えない範囲での出資と責務の分担、共同事業者として民間出資企業と役割分担
- ・ 政府と連携し、ファイナンス面でJBIC、JICA等と協調し、政府一体となった支援体制を構築。ローカル通貨建長期ファイナンスの活用
- ・ 必要に応じ、完工保証、コストオーバーランの対応等、スポンサーサポートを提供
- ・ 政府と連携し、事業の枠組み作りに参画
- ・ 既往案件への出資等についても弾力的に行う

### 長期的収益性の確保

- ・ Manageableなリスクと長期的収益性の確保、事業継続に必要な財務面でのサポート体制
- ・ ポートフォリオ全体の健全性の確保、投資事業の管理とモニタリング
- ・ 事業者との間であらかじめExitについて協議

なお、支援にあたっては、上記のほか、環境社会配慮・コンプライアンスの確認を行う。

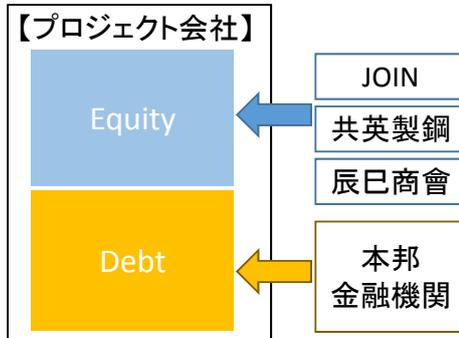
3

## 4.JOIN支援事業：ベトナム・チーバイ港ターミナル整備・運営事業

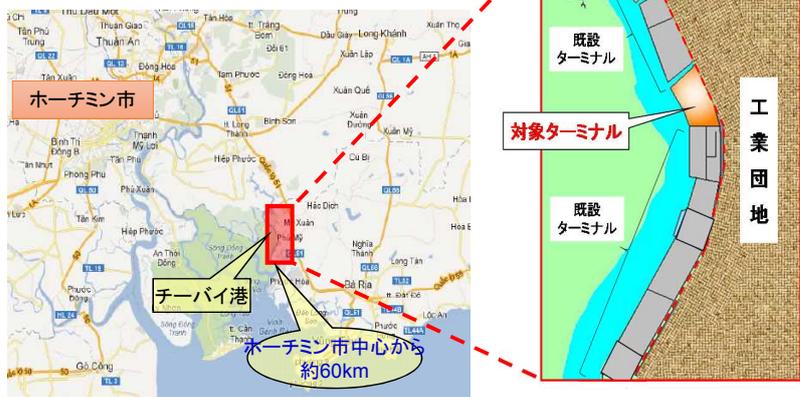
### 事業概要

ベトナム南部ホーチミン近郊のチーバイ港において鉄スクラップ、鉄鋼製品等を扱う港湾ターミナルの整備・運営事業。本邦大手電炉メーカーである共英製鋼と港湾運送事業者である辰巳商會と共同出資を行う。(JOIN出資額:約12億円)

### 事業スキーム



### プロジェクトサイト図



### 政策的意義

- ベトナム初の日本の港湾運送事業者による港湾運営事業の実現
- ターミナル後背地に立地する複数の日系企業に裨益
- 我が国の港湾運営に関する知識・ノウハウを海外に展開

## 5.JOIN支援事業：米国テキサス州高速鉄道事業

### 支援概要

米国テキサス州において高速鉄道の開発事業(資金調達、用地取得、詳細設計等)を進めている米国の民間企業TCP(テキサス・セントラル・パートナーズ)に出資・事業参画を行う。(JOIN出資額:約49億円)

### 鉄道事業概要

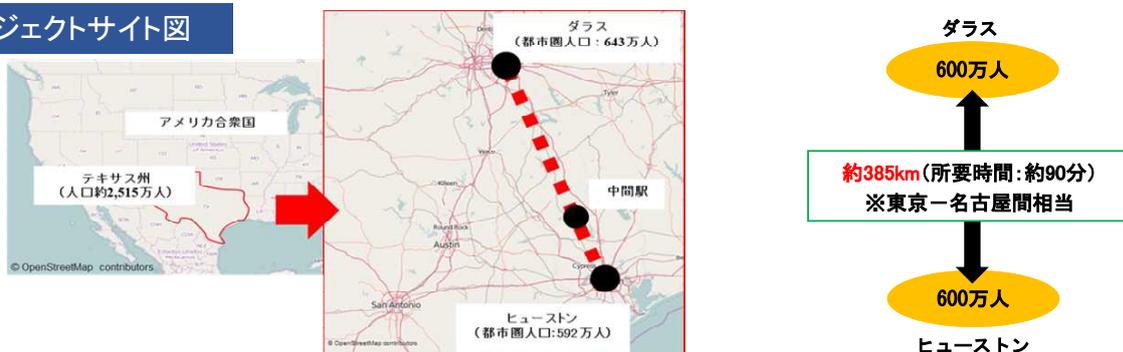
#### 【テキサス州高速鉄道事業概要】

- ・テキサス州ダラス～ヒューストン間(約385km)を新幹線システム(N700-I Bullet)で結ぶ計画
- ・TCPが主体となり、N700-I Bulletを導入する前提でプロジェクトを推進している
- ・プロジェクトは①調査・プロモーション段階、②開発段階、③建設・運営段階の順に進行。現在、②開発段階に移行したところ

#### 【事業全体のスケジュール(TCP想定)】

- 2015年6月～12月 開発段階に必要な資金の調達
- 2017年中 建設・運営段階のファイナンス・クローズ、建設工事開始予定
- 2022年 開業予定

### プロジェクトサイト図

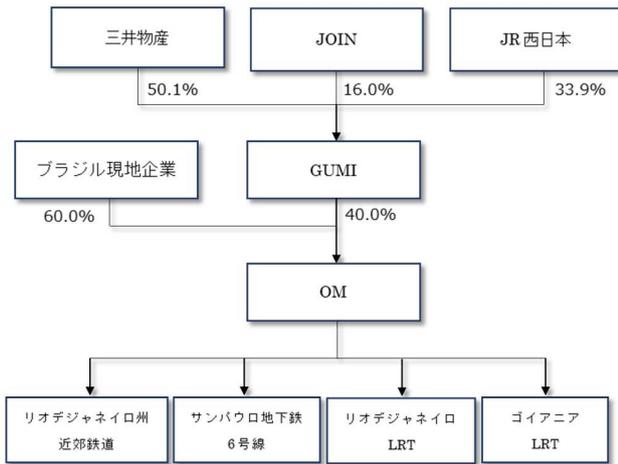


## 6.JOIN支援事業： ブラジル都市鉄道事業

### 事業概要

ブラジル国におけるリオデジャネイロ近郊鉄道、サンパウロ地下鉄6号線、リオデジャネイロLRT、ゴイアニアLRTの4事業からなる都市鉄道事業。ブラジル最大級のコングロマリットであるオデブレヒトグループ、三井物産及びJR西日本と共同出資を行う。(JOIN出資額:約56億円)

### 事業スキーム



### 政策的意義

- 我が国の鉄道事業者とともに、旅客鉄道事業への出資・事業運営に本格的に参入
- 我が国の鉄道運営に関するノウハウを活用し、技術者の派遣、現地の人材育成を通じて、安全・安定な鉄道輸送を実現
- 日本企業による今後のアフターサービスや新規案件受注の一助となる

## 6.JOIN支援事業： ブラジル都市鉄道事業

### プロジェクトサイト図

**ゴイアニアLRT**  
(2018年開業予定、路線延長:14km)

利用者数増加に伴い、現在運営されているBRT(バス高速輸送)の輸送力が限界に近づいたため、LRTへの転換を図り、輸送力の増強を図る事業。

現行のBRT

**サンパウロ地下鉄6号線**  
(2021年開業予定、路線延長:15.3km)

沿線の通学需要に応えるため、また、交通渋滞等を解消するため、6号線を整備・運営し、輸送力の増強を図る事業。

現行のサンパウロ地下鉄4号線駅構内



**リオデジャネイロ近郊鉄道**  
(開業済み、路線延長:270km)

車両・レールの交換、システムの維持・管理等に投資し、安全性・安定性の向上を図り、慢性的な交通渋滞の解消につなげることを目的とする事業。

運行中の鉄道車両

**リオデジャネイロLRT**  
(2016年開業予定、路線延長:28km)

2016年のリオ五輪開催に向けて、空港や港湾との連結性を高めるため、LRTを整備・運営し、輸送力の増強を図る事業。

リオデジャネイロLRT(展示車両)

## 7. フィリピン・基地転換開発公社とのクラーク地域開発等の具体化に向けた協働

### 協働概要

在フィリピン米軍基地跡地の開発を担う政府機関である基地転換開発公社(BCDA)と共同で、①クラーク・グリーン・シティ計画(CGC)及び②マニラ南北通勤線北線の延伸計画(CRTS)の2案件について、本邦民間企業や地元企業の事業参画を促進、実現するために、具体的調査・詳細マスタープラン策定を行う調査会社を設立する。

### 政策的意義

JOINが上流から関与しBCDAと共同で調査を行うことで、CGCのバリューアップに繋がり、本邦企業が求める投資環境や参画条件を反映した詳細マスタープランを策定し、本邦企業の参画を促進する。

### 調査対象案件

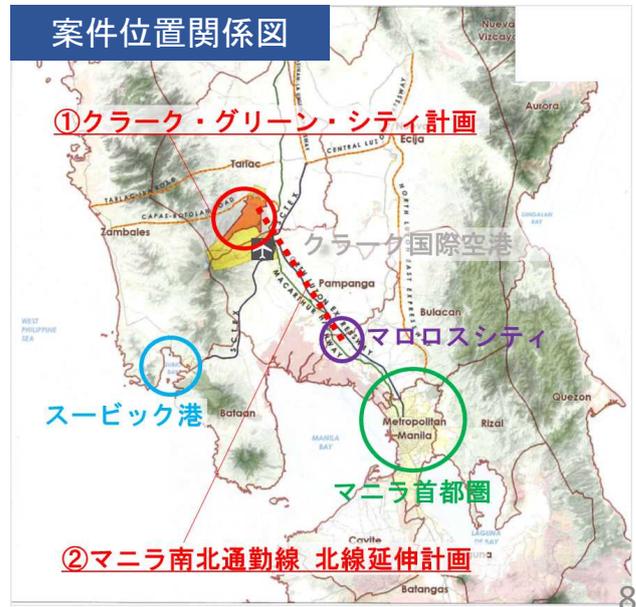
#### ①クラーク・グリーン・シティ計画

BCDAがクラーク米空軍基地の跡地の一部で進める新規の地域開発案件。マニラ北西約120kmに位置。

#### ②マニラ南北通勤線 北線延伸計画

マニラ近郊鉄道のマニラ～マロロスシティ間(下物整備にJICA円借款内定)の延伸にあたる、マロロスシティ～クラーク間の鉄道整備案件。クラーク・グリーン・シティ内に終点ターミナル駅を計画。

### 案件位置関係図



## 7. 会社案内

### 会社名

株式会社海外交通・都市開発事業支援機構  
(英文: Japan Overseas Infrastructure Investment Corporation for Transport & Urban Development; JOIN)

### 所在地

東京都千代田区丸の内2丁目2番3号(丸の内仲通りビル9階)

### 出資金

※平成27年1月現在

209億4500万円(政府:150億円 民間:59億4500万円)

### 民間出資者の内訳

港湾空港総合技術センター	日本船主協会
海外エコシティプロジェクト協議会	日本造船工業会
海外建設協会	日本道路建設業協会
海外鉄道技術協力協会	日本物流団体連合会
国際建設技術協会	日本民営鉄道協会
全国空港ビル協会	プレストレスト・コンクリート建設業協会
日本埋立浚渫協会	日本高速道路インターナショナル
日本橋梁建設協会	三井住友信託銀行(信託口)
日本港運協会	